

会長挨拶	平成25年度 定時社員総会	特別支援学校への和太鼓寄贈式
大学向けSE講座講師認定証授与式	第7回ベストワーキングウーマン表彰式	総会記念講演会
懇親懇談会	家族慰安地引網大会	第32回神情協ビジネスフォーラム
第1回メンタルヘルスセミナー	第25回技術見学会に参加して	第2回エグゼクティブセミナー開催
労働福利セミナー開催	神奈川IT就職フェア開催	ICT TOUR in ASIA]ミャンマー・タイICT産業視察
SE講座講師との情報交換会	この人いいね!	第77回神情協ゴルフ・コンペ成績
委員会紹介(企業経営委員会/産学連携委員会) New!	会員企業訪問(株式会社イーツー・インフォ/株式会社インフォマジック/株式会社アルファメディア)	
第17回「夢絵コンテスト2013」を終えて	新会員紹介	

会長挨拶

一般社団法人神奈川県情報サービス産業協会は、1987年に設立された会員数310社を超える、神奈川県の認可団体です。

当協会が進める事業の大きな柱は

第一に、会員企業間、経営者・社員の交流、情報交換による啓蒙・啓発事業

第二に、教育機会提供による会員各社の技術力向上

第三に、会員企業間のビジネス開拓

第四は、会員企業と地域の行政、企業、研究所、大学とのビジネス機会の提供

第五は、会員企業のグローバル化対応や新規事業進出機会の提供

第六は、地域経済の発展への貢献と公共福祉への寄与

これら、六つの事業を行うことにより、会員各社がより元気で魅力ある企業となり、情報サービス産業の健全な発展と業界の社会的地位向上にも繋がってくるようになります。

グローバル化により経営革新が迫られる昨今、世界に通用する高度IT人材の確保と、人材の育成・教育事業により次世代を見据えた人的基盤づくりに積極的に取り組み、会員に役立つ充実した事業展開を行い、更に仲間を増やしながら魅力ある協会活動に取り組んでまいります。

【活動の理念】

協会の事業を通じて、社会の繁栄と公共の福祉、地球環境の保全に貢献する『知的集約型産業』の団体として活動し、同時に、会員企業の持続的発展とこれを構成する社員の豊かな生活を支援することを理念とします。

【活動の目的】

協会は、情報化の基盤整備、情報関連技術の開発促進等を行うとともに、グローバル化と変革を求められるビジネスモデルへの会員各社の対応を支援することにより、神奈川県内の情報サービス産業の健全な発展及び情報関連技術の水準の向上を図り、もって地域経済の発展及び公共福祉の増進に寄与することを目的とします。

【基本方針】

協会は、会員企業の啓発親交とグローバル化対応、経営改革・変革に役立つ場を提供します。

会員企業が相互啓発親交をとおして切磋琢磨し、各社の経営水準の向上、業界の健全な発展と地域経済の発展に繋がる場の創造と提供に努めます。また、新分野との接点を切り開く機会を創出し、会員企業の事業領域の拡大や新規事業への進出に寄与します。

協会は、教育研修事業の強化・拡大に努め、会員企業の技術水準の向上に寄与します。

情報関連技術の開発促進並びに技術水準の向上に寄与し、ひいては会員企業の社会的・経済的地位向上を目指します。

協会の存在を県内外へ広くアピールできる事業・広報に努めます。

県及び横浜市・川崎市・相模原市を始めとして関係外部団体とも連携した上で公共的事業にも広く参画し、協会自らが事業として実施する等、協会の存在を県内外へアピールすることに努めます。その結果として地域経済の発展並びに公共の福祉増進にも寄与し、会員増強にも結び付けていきます。



池田会長体制から常山新会長体制に変わり、10年振りに新たな体制でスタート！

平成25年度定時社員総会が6月20日(木)14時15分より横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ日輪の間(5F)において開催された。総会は、池田会長から「コンピュータは従来、限られた大企業のものであったが、クラウド化により中小企業が利用できる時代となってきた。開発からサービスへと売り上げもシフトしてきている」といった挨拶のあと、池田会長が議長に選出され、正会員数268社、出席会員数105及び委任状提出数60社、総数165社で総数の2分の1以上であり規程に則り総会成立を確認した。その後、議案審議に移り、第1号議案 平成24年度事業報告(案)承認の件、第2号議案 平成24年度決算報告(案)承認の件、第3号議案 第3期理事及び監事(案)選任承認の件とも異議なく満場一致で原案通り承認された。

役員選任では、内藤専務理事より「今回の選任にあたっては、池田会長体制となって10年が経ち、この間、神情協も200社に満たなかった会員数から300社を超える会員数へと大きく発展し、委員会事業も活発化した。本来ですと池田会長には、まだまだ続けていただきたいところですが、10年の節目ということもあり、池田会長から退任の意向が伝えられた」旨、紹介し、本総会で池田会長をはじめとして、富澤・野木・森副会長、上野・大西・畠山常務理事、飯島・犬飼・蕭・田村理事の11名の方が退任することになった。

なお、退任する池田会長は名誉会長に、富澤・野木・森副会長は顧問に、大西常務理事はSE講座特別委員会及び産学連携委員会の相談役に就任する。

第3期の役員は下表のとおり



協会役職	氏名	会社名	会社役職名	担当委員会
会長	常山 勝彦	(株)ソフテム	代表取締役	
副会長	熊田 恒雄	エヌヴィ・コミュニケーションズ(株)	取締役会長	
同	杉之関伸男	(株)テクノリサーチ	代表取締役	
同	原田久仁子	(株)富士テクノソリューションズ	取締役副会長	
専務理事	内藤 由夫	(一社)神奈川県情報サービス産業協会	事務局職員	
常務理事	板橋 哲也	(株)エイ・シー・ティ	代表取締役	労働福利委員会 委員長
同	今西 行雄	(株)東計電算	執行役員総務部長	教育研修委員会 委員長
同	市川 嘉美	(株)インフォマジック	代表取締役	技術委員会 委員長
同	小川名剛彦	(株)ユーズウェア	代表取締役	産学連携委員会 委員長
同	高橋 佑至	(株)ネットフォレスト	代表取締役	地域交流委員会 委員長
同	千葉理恵子	(株)ディー・エム・シー	専務取締役	女性活躍委員会 委員長
同	中山いその	(株)フューチャーネットワークス	代表取締役	広報委員会 委員長
同	前山 浩志	デジタルコム(株)	代表取締役	企業経営委員会 委員長
理事	生井 徳男	日揮情報システム(株)	執行役プロフェッショナルサービス事業室長	地域交流委員会 副委員長
同	石田 哲	(株)イーソー・インフォ	代表取締役	広報・横浜市交流委員会 副委員長
同	井手 興一	(株)システムハウス・アイエヌジー	常務取締役	労働福利委員会 副委員長
同	大指 一郎	(株)アルファ・ウェーブ	代表取締役社長	労働福利委員会 副委員長
同	梶本 繁昌	(株)アイネット	代表取締役社長	横浜市交流委員会 担当委員長
同	小山 芳廣	(株)エヌ・エス・ピー	常務取締役	教育研修委員会 副委員長
同	坂本 淳	(株)メビウス	代表取締役	女性活躍委員会 副委員長
同	鈴木 晶	(株)アナザーウェア	代表取締役	企業経営委員会 副委員長
同	高見沢正己	(株)CJ	取締役	技術委員会 副委員長
同	長興寺文夫	(株)アイ・ジー・スクウェア	代表取締役	企業経営委員会 副委員長
同	富樫 和弘	(株)アドバンス	代表取締役	産学連携委員会 副委員長
同	中溝 正俊	シンポー情報システム(株)	代表取締役社長	産学連携委員会 副委員長
同	畠山 英俊	(株)アプリコット	専務取締役	川崎市交流委員会 担当委員長
同	平野 雅義	(株)アローズ・システムズ	常務取締役	女性活躍委員会 副委員長
同	福山 文博	(株)横浜電算	取締役	教育研修委員会 副委員長
同	松尾 明	(株)大洋システムテクノロジー	取締役(兼)執行役員社長	地域交流委員会 副委員長
同	松尾 洋	日立INSソフトウェア(株)	監査役	技術委員会 副委員長
監事	西岡 豊	東芝情報システム(株)	取締役	
同	本田 博己	(株)エフネット	代表取締役	

特別支援学校への和太鼓寄贈式

和太鼓の寄贈は、神情協が創立20周年を記念に行い、その後も毎年実施をしてきた。

寄贈式は例年夢絵コンテストの表彰式の中で行ってきたが、その夢絵コンテストは、第15回を最後に当協会での主催は終了し、当協会の会員会社が設立したNPO法人こどもネットミュージアムに移管をした。その時の経緯で第17回までは、夢絵コンテスト表彰式の中で寄贈式を行い、今年度から定時社員総会の中で行うこととした。

平成25年度の寄贈校は、神奈川県立横浜南養護学校で、今回が第8回9校目の寄贈となる。

寄贈式では、神奈川県立横浜南養護学校学校長 瀬戸ひとみ氏に常山会長から録を贈呈し、神奈川県教育委員会特別支援教育課長 田口雅巳氏より、神奈川県黒岩知事からの感謝状が送られた。

